

一歩進んだ企業。 業界研究をする。

※オレンジ色の箇所をクリックすると
該当のページへ移動します。

Action!

- ☐ 説明会に行く
- ☐ ESを作成する
- ☐ OBOGに会いに行く



⑤ 採用可能性チェック

- ✦ **東洋経済DCL [DB] —就職四季報**
採用実績校チェック
- ✦ **日経テレコン [DB] —人事検索**
役員に中大卒がいるか
- ✦ **ダイヤモンドD-VISION NET [DB]**
人物特定検索—
出身校：中央大学（出身校コード：2092）
→ 部長クラス、次長・課長クラスに絞って探せる。
- ✦ **Career Center net**
中大OB・OGがいるか
→ OB・OGがいたら会いに行こう。
中大に採用情報を送ってきているか
具体的なことはキャリアセンターに相談しよう。

START

① 志望業界を発掘する

- ✦ **未知の優良企業を探すため自分なりの条件で検索してみる**
 - a. 東洋経済DCL [DB] —就活企業サーチ
 - b. 日経テレコン [DB] —企業検索
 - c. eol [DB] —業種分析（ランキング）
- ✦ **ランキングの本をみる**
 - d. 帝国データバンク『全国企業あれこれランキング』（参考・開架 M670.35/Te25）
- ✦ **新聞で未知の企業を効率的に発掘する**
 - e. 日経テレコン [DB] —「きょうの新聞」—「企業面」
企業情報多数、いままで知らなかった企業を発見できる。
 - f. 日経テレコン [DB] —「きょうの新聞」—「地方経済面」
地域ごとの企業が探せる。Iターン、Uターン考える人必見。
 - g. ヨミダス歴史館 [DB]（読売新聞）—就活ON!
トップページ「すぐ読むお薦め連載」—「就活ON!」をクリック。
就活生向け情報のほか、企業で働く人のインタビュー記事多数。
興味をもてる企業があるかも!
 - h. 聞蔵Ⅱビジュアル [DB]（朝日新聞）—「へえな会社」ほか
「ナビ検索」・「就活応援」・「へえな会社」ほかをクリック。



データベース（DB）は**こちら**から利用できます。
詳細および学外からの利用については次ページを
ご覧ください。

④ 業界情報を調査する

- ✦ **業界地図**
 - a. 日経業界地図（開架 602.1/N77//キャリア1）
 - b. 会社四季報業界地図（開架 602.1/To86//キャリア1）
 - c. 最新業界地図（成美堂）（開架 602.1/Se17//キャリア1）
 - d. 業種別業界情報（開架 M603/C67//キャリア1）など
※aは日経テレコンの「業界情報」に収録。「業界情報」には
「業界サマリ」や「業界ニュース」も収録されています。
bは東洋経済DCLの企業情報に収録されています。
- ✦ **便利な本**
 - e. 業種別審査事典（金融財政事情研究会）
（参考 M338.55/Ki48）
→ 銀行が企業融資の際に参考にする。専門家向けだが読みやすい。
- ✦ **ビジネス誌の記事を探す**
※ステップ③のデータベースで「〇〇業界&特集」で検索。
- ✦ **eol [DB] —企業検索**
→ 1つの企業を探したら、「ライバル会社」チェック →
ターゲットの企業だけでなく、ライバル会社の「対処すべき課題」を
合わせて読み込むと業界の課題も見えてくる。

② 探した企業を調査する

- ✦ **東洋経済DCL [DB] —会社検索**
 - a. 会社四季報 b. 会社四季報未上場版
 - c. 就職四季報 d. 就職四季報女子版
 - e. 就職四季報優良・中堅企業版 f. CSR企業総覧
- ✦ **参考資料**
「内定は必ず取れる! 就活の常識を疑え」
（週刊東洋経済2013.10.12 p76-77）
『「四季報」で勝つ就活!』（田宮寛之、三修社）
（開架 377.9/Ta81//キャリア1）
- ✦ **日経テレコン [DB] —企業検索、新聞、記事検索**
 - ✦ 日経新聞の読み方は、「日本経済新聞ガイド版web」を参照
<https://www.nikkei4946.com/guide/nikkei/>



客観的な情報源に当たると、自社ホームページや就活サイトでは
わからなかった一面が見えてくることもあります。



③ 興味のある企業を徹底調査

- ✦ **eol [DB] —有価証券報告書**
 - ✦ 参考資料『就活生はユーホーを探せ』（郡司昌恭、青月社）
（開架 377.9/G94//キャリア1）
- ✦ **ビジネス誌の記事を探す**
 - a. 日経ビジネス
→ 日経BP記事検索サービス [DB] —「就活情報を収集する」—
「企業研究」→「日経ビジネス」「日経トップリーダー」ほか、
約50誌が閲覧可能
 - b. 週刊東洋経済
→ 東洋経済DCL [DB]
→ 1997年からの記事がキーワードで検索・閲覧できる。
 - c. 週刊ダイヤモンド
→ ダイヤモンドD-VISION NET [DB] —「記事・書籍横断検索」
→ 1999年からの記事がキーワードで検索・閲覧できる
→ 「就職関連おすすめ記事」クリックで役立つ特集号チェック
 - d. 週刊エコノミスト
→ 毎索（毎日新聞） [DB] —「週刊エコノミスト記事検索」
- ※ a.b.c.は、「データベース検索」・「経済・ビジネス・企業情報」から
d.は、「データベース検索」・「新聞全文情報」からアクセス!



聞蔵Ⅱビジュアルでは週刊朝日とAERAの記事検索が可能
です。また、雑誌記事だけでなく、新聞記事にも目を通す
ことで、最新の情報を入手できます。



※オレンジ色の箇所をクリックすると該当のページへ移動します。

図書館を 活用する。

キャリア学習ゲート

中央図書館4階にあり、各種業界研究書や、新聞や有価証券報告書の読み方に関する資料から、将来のキャリア設計に関する資料まで幅広いジャンルのものを約1,800冊閲覧できる。一部資料をのぞき、貸出可能。

レファレンスルーム

中央図書館2階にあり、白書・統計・年鑑・辞書・事典を中心とした約2万冊の資料が利用できる。企業・業界研究に役立つ様々な資料のほかに、ES作成時に役立つ各種国語辞典などもこちらで見ることができる。資料探しの相談はレファレンスカウンターまで。

<レファレンスカウンター受付時間> ※授業実施日に限る。詳細はカウンターにてご確認ください。

月～金 9:30～11:30、13:00～16:30

土 9:30～11:30

学外からデータベースを使うには？

データベースの中には、学認やVPN接続によって学外からも利用できるものがあります。学認の接続方法詳細はデータベース毎のマニュアル、VPN接続の詳細はデータベース検索トップの「SSL-VPN接続」をご参照ください。



自宅や外出先からも利用できて便利です！

Q & A

Q. 企業の安定性や将来性、働きやすさは何を参考にしたいのでしょうか？

A. 安定性・将来性は売上高・営業利益・経常利益・総資産額・自己資本率・従業員数など、働きやすさは3年後離職率・平均年収・平均勤続年数・平均残業時間・採用人数・従業員数などが参考になります。

Q. 志望企業の歴史を知りたいのですが…。

A. 社史を見てみましょう。社風や理念などを知る上で参考になります。CHOIS（中央大学図書館蔵書検索システム）でフリーワード欄に調べたい企業・団体名を入れて検索します。また、『会社史総合目録 増補改訂版』（参考M335.48/N77）には、明治以降、日本で発刊された会社史8,828点と経済団体史1,367点が収録されています。

Q. 業界内でのシェア率について調べたいのですが…。

A. 『日本マーケットシェア事典』（参考M675/N77）には、全産業にわたる商品別の企業占有率が網羅されています。商品ごとに過去5年分の出荷高の推移とメーカー別出荷金額・数量シェア・主要メーカーなどが掲載されています。日経テレコンの「業界情報」もぜひご参考に。

Q. 海外の企業や外資系企業について調べる方法はありますか？

A. 「Margent Online」で、北米・欧州の主要な上場企業を中心に企業情報の調査や、Annual report（年次報告書。略称：10K）の閲覧ができます。また、週刊東洋経済臨時増刊号にあたる『外資系企業総覧』（日本に進出している外資系企業の情報を収録）、『海外進出企業総覧』（世界に進出している日本企業の現地法人の情報を収録）、「米国会社四季報」（すべて年刊、中央Z33/T100）も参考になります。「東洋経済DCL」からも利用可能です。

Q. 公務員志望ですが、参考になるデータベースはありますか？

A. 時事通信社が提供するiJAMPは、中央省庁・地方自治体の行政・政策ニュースが豊富に掲載されています。

Q. 紙の新聞が読みたいのですがありますか？

A. 中央図書館2階には国内外の主要紙を各種取り揃えています。自由に閲覧できます。バックナンバーは一定期間中央書庫にて保存しています。

Q. I・Uターンの参考になる資料はありますか？

A. 地方紙はいかがでしょうか。中央図書館では地方新聞5紙（北海道・河北・中日・西日本・沖縄）を読むことができます。全国紙に掲載されない地元の有力企業の記事が掲載されたり、見出しから地域の動きや、興味関心の持てる業界・企業を探すヒントが見つかる可能性があります。

〇〇で
できること

※オレンジ色の箇所をクリックすると該当のページへ移動します。



どのデータベースでなにができるのか、
どんな使い方ができるのか、簡単にご紹介します。

eol

国内企業の財務情報データベース。有価証券報告書の全文が、
上場企業1984年以降、非上場企業1998年以降、閲覧できます。
財務データをCSV形式でダウンロードすることもできます。

- ☐ 「業種分析」（ランキング）で未知の企業を探す。
- ☐ 「有価証券報告書」で企業の調査をする。
- ☐ ライバル会社の「対処すべき課題」もあわせてチェックし、業界全体の動向を探る。

東洋経済デジタルコンテンツライブラリー

東洋経済新報社発行の「週刊東洋経済」、「就職四季報」、「四季報業界地図」などの雑誌記事や企業情報を提供しています。雑誌記事は記事中の語句を全文検索でき、そのほとんどをPDF形式で利用できます。
企業情報は、社名、証券コードから検索できます。

- ☐ 「就活企業サーチ」で未知の企業を探す。
- ☐ 「会社検索」で企業の調査をする。
- ☐ 「週刊東洋経済」で興味のある企業が取り上げられている記事を検索する。
- ☐ 「業界地図」で業界情報を調査する。
- ☐ 「就職四季報」で採用実績校をチェックする。

日経BP

日経BP社が発行する「日経ビジネス」「日経ベンチャー」「日経コンピュータ」など約50誌のバックナンバー記事を検索して、記事全体を閲覧できます。

- ☐ 「日経ビジネス」で興味のある企業が取り上げられている記事を検索する。

聞蔵Ⅱ ビジュアル（朝日新聞）

明治創刊号から1984年までの朝日新聞紙面、1945年以降の新聞縮刷版約700冊分を収録したデータベースです。1985年以降の地域面の記事も検索可能です。

- ☐ 「ナビ検索」-「就活応援」-「へえな会社」で未知の企業を探す。
- ☐ 記事検索で興味のある企業・業界に関する記事を探す。

日経テレコン

1975年から前日までの日本経済新聞等の記事の全文検索、明治から戦後までの日本経済新聞縮刷版の閲覧、企業情報（約26,000社）の検索・閲覧、全国有力企業約4,300社をはじめ、中央官庁、政府関係機関、業界団体、県議会・市長等、約30万人の人事情報の検索・閲覧等が可能です。

- ☐ 「企業検索」、「今日の新聞」-「企業面」、「今日の新聞」-「地方経済」で未知の企業を探す。
- ☐ 「企業検索」、「新聞記事検索」で企業の調査をする。
- ☐ 「業界情報」、「業界地図」で業界情報を調査する。
- ☐ 「人事検索」で役員に中大卒がいるか等、採用可能性をチェックする。

毎索（毎日新聞）

1872(明治5)年創刊からの毎日新聞記事を検索できます。新聞記事のほかに、「週刊エコノミスト」の記事検索や世論調査のデータベース等の検索・閲覧も可能です。

- ☐ 「週刊エコノミスト」で興味のある企業が取り上げられている記事を検索する。
- ☐ 記事検索で興味のある企業・業界に関する記事を探す。

ダイヤモンドD-VISION NET

『週刊ダイヤモンド』、『DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー』等の雑誌記事の検索・閲覧できます。1万6000社の会社情報や、役員・管理職情報、組織図を収録しています。

- ☐ 「週刊ダイヤモンド」で興味のある企業が取り上げられている記事を検索する。
- ☐ 「人物特定検索」で中大出身の部課長クラスの人物を探す。

ヨミダス歴史館（読売新聞）

明治7年(1874)年の創刊号から最新号までの読売新聞記事を検索・閲覧できます。The Daily Yomiuri、人物データベース、「大辞林」、「エクシード英和・和英辞典」、「イミダス」も搭載されています。

- ☐ 「すぐ読むお薦め連載」-「就活ON!」で就活生向けの情報や企業で働く人のインタビュー記事を探す。
- ☐ 記事検索で興味のある企業・業界に関する記事を探す。